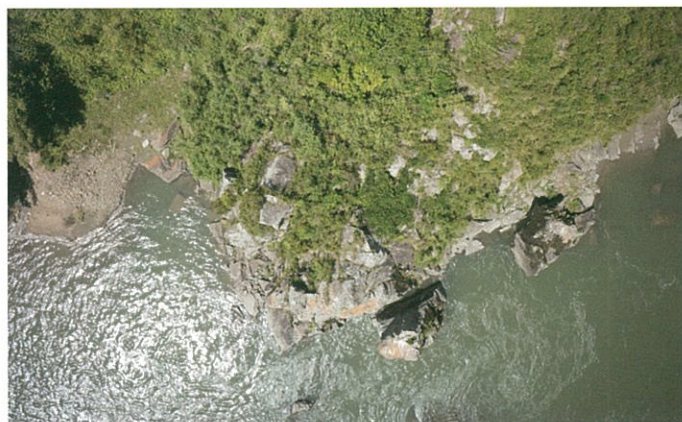


JR 肥薩線の坂本駅の手前、坂本町の中心部の入り口、中谷橋の少し下流の国道 219 号線沿い左岸にある大きな奇岩が鉄漿付け岩（かねつけいわ）です。

この岩のすぐ横に瀬高山という小高い山があり、瀬高山の山頂付近には、戦国時代の瀬高城があったと伝えられています。戦国の争いで瀬高城が攻め込まれた時、城を逃れ出た女たちは、木の間の隠れ道を球磨川端のこの岩までたどり着きました。しかし、振り返った瀬高城は、黒煙に包まれ、落城寸前の様子です。もはやこれまでと覚悟を決めた女たちは、追っ手に捕らわれるよりも球磨川の流れに身を沈め、武門の面目を全うしようと岩の上に集まりました。女たちは醜い姿を敵に見せて笑われぬようにと、鉄漿（お歯黒のこと）を黒々と染め、その上薄化粧までして深い球磨川の流れに飛び込み自らの命を絶ってゆきました。この故事から、この岩を鉄漿付け岩（かねつけいわ）と呼び慣わすようになりました。



花崗岩できている鉄漿付け岩



ドローンで真上から見る鉄漿付け岩



領内名勝図巻

永青文庫所蔵



現在の風景



所在地：熊本県八代市坂本町中谷



ギャラリーに設置してあるタッチパネル式ディスプレイで 4k 画質の動画をお楽しみいただけます